



教育目標

考え深い子 心豊かな子 がんばりぬく子

重点目標

【学び】

【こころ】

【からだ】

確かな学力を身につける子

よさや違いを認め励まし合う子

健康に関心を持ち体をきたえる子

自信をもって表現する子

- ①「時と場、状況に応じた返事やあいさつ」などができる子ども
「はい」「いいえ」「ありがとう」「ごめんなさい」「だいじょうぶ?」「
「いただきます」「ただいま」「おはよう」「こんにちは」「さようなら」・・・
- ②人前で「堂々とした発表」ができる子ども
学級の仲間の前で 全校のみんなの前で 登校班のメンバーの前で 杉の子班のメンバーの前で
他校の人の前で 地域の方の前で・・・様々な人の前で
- ③自分の「考えを伝えること」ができる子ども
自分で考える ⇄ 自分の考えをもつ
相手の考えを聴く ⇄ 自分の考えを伝える

<確かな学力と学び方の定着>

○学習意欲の向上と学習習慣の定着

目標:「国語・算数のワークテストで8割以上」の児童が7割を上回る。

- ・web配信システムの正答率をふまえた授業改善
- ・三条学園9年間のカリキュラムに基づいた授業の実践
- ・三条学園家庭学習強調週間と連携した全校漢字、計算テストの実施(年4回)
- ・朝活動におけるスキルタイムの継続的な取組(週3回)
- ・全校体制による「三条学園学習はじめの一步」の定着に向けた取組

○調べる力

目標:
前期「課題を見つけて、追求の見通しをもつことができた」
後期「調べたことをまとめ、発表したり発信したりすることができた」児童が、85%以上(教師の見取り、自己評価アンケート)

- ・生活科、総合学習等で地域の人々と関わる活動の全学年での実施(年3回以上)
- ・三条学園の「キャリア教育モデルプログラム」をもとにした活動の実施

<豊かな人間関係づくり>

○楽しい学校・楽しい学級

目標:クラスが居心地がよく、楽しいと感じる。Q-Uで「学校生活意欲(領域別)学級の雰囲気」で中・高の割合が90%以上)

- ・学級活動(学級会、イベント、係活動)の充実
- ・毎学期、エンカウンター、ソーシャルスキルトレーニングの実施
- ・教育相談、児童に関する情報交換の充実

○すてきな仲間

(かかわる力・実践力・自己肯定感)

目標:
①杉の子班のみんなと仲よく協力できた
②友達や地域の人にあいさつができた
(かがやきアンケートでの児童の自己評価)

- ・全校登山を重点とした杉の子班活動の取組
- ・学校田での活動、全校登山、もちつき交流会等地域の方と交流のある行事の実施
- ・児童会を中心としたあいさつ運動の実施
- ・家庭や地域と連携したあいさつの推進と中学生を招いたあいさつ交流
- ・学年部朝会における異学年交流の充実

<健康増進の意欲向上>

○体カづくり

目標:体カテストの結果において、昨年度の平均値が県平均を下回った男女別の2種目を、重点種目として設定する。重点種目が、前年度県平均を上回る。

- ・子どもの意欲を高め、達成感が得られるようにするためのめあてカードを活用した授業の実施
- ・十分な運動量を確保した授業の実施
- ・意欲的に運動に取り組めるようにするための用具、器具、活動場所等の運動環境の整備

○規則正しい生活リズム

目標:就寝時刻の理想値(三条学園共通のめあて)における達成率が70%を上回る。

- ・規則正しい生活リズムを定着させるための取組(家庭学習・生活リズム強調週間年4回、いきいきキャンペーン 年2回)
- ・規則正しい生活リズムの定着を目指した保健指導の計画・実施



地域(ひまわりコミュニティ・上林分館)と連携した教育活動

- ☆学校教育田での活動(全校児童による田植え・稲刈り)
- ☆地域ふれあいもちつき交流会
- ☆合同文化祭



三条学園小中一貫教育 (KUSSの会)

- ☆中学校教員の乗り入れ授業
- ☆二つの小学校、小学校と中学校の交流授業
- ☆二つの小学校間の交流活動



保育園との交流活動

- ☆年長児と児童の交流活動
- ☆職員間の交流研修と情報交換